

殺し屋と入れかわりましたの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	殺し屋と入れかわりましたの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	殺し屋と入れかわりましたを読んだことのある20代～50代の男女25名
調査期間	2025年4月16日～2025年4月19日 2025年5月16日 2025年5月30日 2025年7月25日 2025年9月2日 2025年10月1日 2025年10月31日 2025年12月26日 2026年2月1日 2026年3月26日 2026年7月1日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/koro-siyatoirekawarimasita/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 殺し屋と入れかわりましたを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	1人
20代女性	0人
30代男性	9人
30代女性	0人
40代男性	13人
40代女性	1人

50代男性	1人
50代女性	0人

Q2: 殺し屋と入れかわりましたの感想を教えてください。

殺し屋と入れかわりましたの1話～5話	序盤は凄惨な境遇に目を覆いたくなるほどでした。 主人公の良太はかなり酷い扱いを受けていましたが、酷かった分だけ後半の反撃シーンが痛快でした。 反撃をしたのは中身が城田なので、良太自身がやり返したわけではありません。 それでも林がやられていく様子が楽しめました。 あれだけ酷いことをしたのだから、お前もやられて当然！と楽しめました。
殺し屋と入れかわりましたの1話～5話	主人公良太の境遇が本当に悲惨で可哀想すぎますね。被害に遭っている気弱な男の子なのですが、一番ムカついたのは担任の教師が見て見ぬ振りをしているという点ですね。本当に現在の学校事情を反映しているような感じでムカムカしてきます。でもそんな良太に転機が巡ってくるのでその展開が本当に面白いです。シナリオの運び方がとにかく上手いです。
殺し屋と入れかわりましたの1話～5話	本当にこの作品の物語展開は最高の一言です。殺し屋と学生が入れ替わって物語が進行していきながら、めちゃくちゃ気になる設定ですね。その設定をフルに使って物語をとにかく面白くしてくれるのでたまりません。殺し屋拓実の体に入り自分の倒れている姿を間近で見ている良太の内面が凄く興味深かったです。全く訳がわからず良太が警察に追われてしまう姿はとて面白かったです。
殺し屋と入れかわりましたの6話～10話	殺し屋拓実の体と入れ替わってしまったことで良太が戸惑いの感情を抱いている場面がとにかく面白いですね。もし自分が良太でもあの反応になると思います。本当に訳がわからないという感じが作画から強く伝わってくるので見ていて非常に面白いですね。拓実の体なので、警察に追われてしまうという展開もすごくスリリングです。よって先の展開から目が離せません。
殺し屋と入れかわりましたの6話～10話	本当に殺し屋だけあって行動力の凄さが目立ちますね。良太の体に入ってしまった拓実でしたが、その境遇からどんどん形成逆転していく流れが爽快ですね。一番はやっぱり担任の中森をあっさり仲間に引き入れた展開が面白いです。拓実の頭の良さが爆発した形で中森の弱みを握って脅していく姿に気持ちよさがありました。
殺し屋と入れかわりましたの6話～10話	担任の中森というキャラに注目ですね。本当にクズ教師と言ってもいいくらいの性質なのですが拓実の行動によってあっさり仲間になり色々利用できる展開が爽快ですね。拓実の指示で林を痛めつける中森の姿がとて興味深かったです。あれが本来の教師の姿だとちょっと思いました。これまで見過ごしていた訳なので、その償いとして拓実に協力するのは自然な流れですね。
殺し屋と入れかわりましたの11話～15話	拓実の体に入ってしまった良太なのですが、ドミノという男と出会ったことで、その事実がバレそうになってしまう場面がとにかく面白いですね。私はこういう緊迫感のある流れが大好きなので良太のドキドキ感が本当によく伝わりましたね。なんとかドミノにバレずに切り抜けた姿を見て肩の力が抜ける思いでした。それくらい本当に危ない場面が多いのでここは必見です。
殺し屋と入れかわりましたの11話～15話	とにかく、この作品は先が全く読めませんね。拓実の体に移ってしまった良太が殺し屋になりすましながら行動していくのですが、まさかの整形をして身分を隠そうとするなんて展開まで用意されていて本当に驚きました。バレないためには仕方ないということで良太が整形を受け入れてしまう流れには本当に驚きましたね。ストーリー展開にドキドキ感があって俄然目が離せません。
殺し屋と入れかわりましたの11話～15話	そうそうにボロが出てドミノに疑われてしまった時は焦りましたが、顔を整形するためにやって来たお医者さんのおかげで助かってホッとしたのも束の間、そのお医者さんは拓実をとて恨んでいて、そのうえアカリのお父さんだと判明する・・・という怒涛の展開にドキドキが止まりませんでした。さらにアカリにも危機が迫ったり、息もつかせぬストーリーがとて面白いです。
殺し屋と入れかわりましたの16話～20話	この作品のヒロインであるアカリの存在が光りますね。良太と拓実の入れ替わりにいち早く気がつくキャラなのですが彼女の存在が物語に数々のトラブルを生んでいくので俄然目が離せません。良太が戸惑いながらもアカリを守りたいと強くなっていくプロセスがとてよく描かれていてワ

	クワクしますね。独特の緊張感を孕みながら進行する場面は必見です。
殺し屋と入れかわりましたの16話～20話	この作品の一番の魅力はキャラクターたちの心情がとにかく丁寧に描写されていくというところですね。今このキャラはこういうことを感じているということが、作画からダイレクトに読み手に訴えかけてくるのでかなりの没入感を得られますね。それによって物語にドキドキ感が生まれて楽しくなってくること間違いなしです。殺し屋が絡んだ物語なので常に危険と隣り合わせな感じも最高です。
殺し屋と入れかわりましたの16話～20話	良太や拓実、中身は入れ替わってはいますがどちらの立場も結構な問題を抱えているので大変です。しかし、唯一アカリの存在がこの作品内での癒しとしてありますね。彼女がいてくれるおかげで、なんだか読んでいて凄くリラックスできるというのは確かです。それはやっぱり彼女が纏う空気感にあると思います。緊迫感のある場面の後、彼女が出てきてくれるとなんだかすごく安心できます。やはり面白い作品には、こういう魅力的なヒロインが必要だと強く思われますね。
殺し屋と入れかわりましたの21話～22話	この作品の作画のクオリティに脱帽です。とても繊細なタッチで拓実や良太のことを描写してくれているのでこの二人に対しての好感度は巻が増すごとに高まりますね。入れ替わったことでお互いの雰囲気も全く別人のように変わっているのでその部分にかなりの魅力を感じられました。アングルなどもこだわりがあり、どんどん話のにめり込めます。
殺し屋と入れかわりましたの21話～22話	この作品の良太の性格にすごく好感が持てますね。人を傷つけることが嫌いで、いつも優しい彼に対してなんだか心が洗われます。拓実の体に乗移ってしまっても、その感情だけは変わらないという信念みたいなものをストーリーから感じ取れましたね。数々の危険が良太を襲いますが、その都度切り抜けていく姿がとても格好良く映りました。
殺し屋と入れかわりましたの21話～22話	良太と拓実は本当に正反対と言っていいほど対照的なのですが芯の部分では似ているところもあって、そこがとにかく面白いですね。相手のことを考えて行動するという部分はとてもよく似ているので、やっぱり入れ替わってしまったのにはある程度運命的な何かがあるのでしょうか。拓実の言葉一つ一つが心にとめて訴えかけてくるものも多いのでそこもいいですね。
殺し屋と入れかわりましたの25話～26話	まさかあのリーパーと同じ能力を持つとは驚きましたが、所詮は複製。ドミノの相手ではなかったですね。それにしても、子どもをあんなふうに使うとかひどすぎです。しかもあんなに大量にいるとかさすがのドミノもどうにもならなさそうです。とはいえ最後のシーンで電車がぶつかったの、なんとか助かりそうです。ドミノが結構好きなので、今後もしっかり物語に関わってほしいです。
殺し屋と入れかわりましたの27話～28話	あの女警部、27話で当時の真実を話すのかと思いきや、心が壊れていただけでした。まさかまさかの展開に驚くばかりです。そしてとうとう良太が城田やアカリ、アカリのお父さんと出会います。良太は記憶がありますし、良太の話を書くことで城田も記憶を取り戻しそうな気がします。もし記憶を取り戻したらどうなるのでしょうか？良太の体だと技術はあっても弱いままです。しばらくは体をどのようにしたら戻るか、という話が続くような気がします。
殺し屋と入れかわりましたの29話～30話	とうとう邂逅のときとなりました。会えばなんとかなると思っていたのでしょうか。しかし、向けられた視線は完全に敵意の目でした。これはつらすぎる。この経験で、亮太が城田の代わりにリーパーになる展開もありそうですね。亮太に戦闘経験はなくても体は覚えているって感じで、リーパー復活の展開に期待です。ドミノは相変わらずギャグっぽい要素があって、松永警部のシュールな笑いにニヤニヤしてしまいました。
殺し屋と入れかわりましたの31話～32話	さらにでてきた強敵です。過去の回想とか流れるので、やられてしまうのかと思いきや、なんとか生きていたようです。とはいえ、かなりの重症です。相打ちみたいな事態にならないければいいのですが。
殺し屋と入れかわりましたの33話～34話	んー、なんか無理やり話が進んだ感がありますね。ドミノの戦いがあっさり終わっちゃったし、急に泣き出すのは謎。そして、急に捨てられる子供たち。何が何やって感じで、どんどん状況がややこしくなっていくそう。城田の師匠と会ったことで、亮太もリーパーになるのでしょうか。
殺し屋と入れかわりましたの36話	城田には血の繋がらない姉がいたんですね。でも幼少の頃からすでに殺しの才能があったようです。死神と呼ばれていた師匠が別格と称するだけあり、相当やばそうです。

『殺し屋と入れかわりました』37話～38話	城田のお姉ちゃんがかわいすぎてびっくりしました。もっとホテルでのシーンを見たかった気もしますが、そういう漫画ではないし十分かも。それにしてもこのあとお姉ちゃんがどうなったのかが気になります。この仕事中に城田に殺されてしまうのか、それとも城田が死神を継ぐことになって精神的に耐えられなくなってしまうのか。続きが気になります。
『殺し屋と入れかわりました』39話～40話	これまで自分の姉を殺さないようにしていた城田でしたが、依頼によりとうとうターゲットになってしまっていたのですね。まさか城田の姉がアカリの母だとは思いませんでした。無表情だけど、城田は本当に辛いでしょうね。次の話が気になります。
『殺し屋と入れかわりました』41話～42話	死神と呼ばれるくらいなのに、まさかの臆病者だったとは思いませんでした。ただ、本質が臆病者なだけで、殺しの技術はあんまり関係ないですよ。性格は臆病で殺し屋には似合わないけど、天賦の才にだけは恵まれすぎていたから、死神なんて呼ばれるほどすごかったんでしょうね。これまでの描写から、臆病者なんてイメージはまったくなかったのが意外です。
『殺し屋と入れかわりました』43話～44話	過去編から急展開すぎて、話飛ばしちゃったのかと思いました。とはいえ、グダグダするよりも良い展開です。気になるのは、良太がどれくらい戦えるのかなんですよ。ドミノの攻撃に反応していましたし、身体は城田なので意外と戦えそうな気がします。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス